



能登半島でECI※¹とPPP※²を同時に採用して 『民間の技術力』を活用し復興を加速します

取 扱 : 本紙投げ込みを以て 解禁

【同時FAX先】 建設速報社、新潟建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社 新潟支局、日本工業経済新聞社 新潟支局、日刊建設工業新聞社 北陸総局、建設ジャーナル社、産業新聞社 北信越支局、鉄鋼新聞社 新潟支局、北陸工業新聞社 新潟支局

【問合せ先】 国土交通省北陸地方整備局
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
Tel (代表) 025-280-8880
企 画 部 技術開発調整官 澤山 雅則 (内線3120)
技術管理課長 吉田 健一 (内線3311)

令和6年能登半島地震によって、事業中であった能越自動車道の輪島道路(Ⅱ期)は、斜面崩落等の被害を受けており、特に、鷹ノ巣山1号トンネルの施工予定箇所において、大規模な地形変状が生じています。

このことから、北陸地方整備局では、鷹ノ巣山1号トンネルの工事が過去に実績の無い斜面崩落箇所におけるトンネル工事であるため、発注者として最適な仕様を設定できないため、設計段階から施工者の技術提案を反映することができるECI(技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ))を採用することとしました。

また、令和6年能登半島地震からの早期の復旧・復興を加速させるため、第一弾として能越自動車道の輪島道路(Ⅱ期)において一体的に事業を進められるようPPPを活用することとしました。(ECIとPPPについては、別紙のとおり。)

なお、今回のECI及びPPPの内容につきましては、下記のアドレスから事業者(建設コンサルタント業者、建設業者、等)からの質問を受け付け、後日、回答することとしますので合わせてお知らせいたします。

< ECI及びPPPに関する問合せ窓口 >

メールアドレス : kikaku-gikan01@hrr.mlit.go.jp

お問合せ期限 : 令和7年2月20日(木) 17時まで

※報道関係の方からのご質問等は、この問合せ窓口ではなく、上記の問合せ先へご連絡ください。

※メール件名を、【ECI及びPPPに関する質問】企業名 としてください。メール件名が異なる場合は、ご回答できない場合があります。

※メール本文に、ご担当者の連絡先等を記載ください。(メール署名でも結構です。)

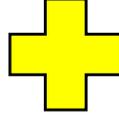
※1 ECI(技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)) : 技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結

※2 PPP(官民連携) : 官民がパートナーを組み、「発注者の情報・知識・経験」、「民間技術者の施工技術等の情報・知識・経験」を融合させることにより、効率的な事業マネジメントを行い、事業の促進を図るもの

ECIとPPPの枠組み概要について

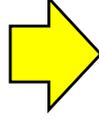
ECI 及びPPP（工事関係）について

- 「R7能越道鷹ノ巣山1号トンネル工事にかかる技術協力業務」として、公募型プロポーザル方式で令和7年4月に公告予定。（令和7年2月7日、発注見通し公表済）
- 当該業務の受注者が、別途発注される「R6能越道他事業監理・鷹ノ巣山1号トンネル修正設計業務」に対して、技術協力を実施。
- 当該業務の受注者は、「能越道鷹ノ巣山1号トンネル工事」の優先交渉権者となり、価格等の交渉（含む、PPPに関する事項）が成立した場合は、施工の契約を締結。
- 「能越道鷹ノ巣山1号トンネル工事」の施工者は、鷹ノ巣山1号トンネルとあわせて、PPP適用区間内の他工事について、事業管理・施工管理等を実施。
- 能越道鷹ノ巣山1号トンネル工事の施工管理等は別途発注を予定。



PPP（測量・調査・設計関係）について

- 「R6能越道他事業監理・鷹ノ巣山1号トンネル修正設計業務」は、簡易公募型プロポーザル方式で令和7年3月に公告予定。（令和7年2月7日、発注見通し公表済）
- 当該業務では、PPP適用区間において中心となる鷹ノ巣山1号トンネルの修正設計を併せて実施。
- 当該業務の受注者は、PPP適用区間内の測量・調査・設計等の他業務について、指導・調整等を実施。また、事業の全体計画の整理、事業管理等、地元及び関係行政機関等との協議についても実施。



一体的な事業の推進